

令和6年度厚生労働科学研究費
「災害派遣精神医療チーム（DPAT）活動における機能強化と
激甚災害（南海トラフ地震等）への対応検討のための研究」
分担研究報告書

DPATの近隣自治体との連携強化

研究分担者：五明佐也香（DPAT事務局、獨協医科大学埼玉医療センター）

研究協力者：福生泰久（DPAT事務局、神経科浜松病院、藤田医科大学）、高尾碧（DPAT事務局、島根県立こころの医療センター）、余田悠介（千葉県長生保健所）、知花浩也（琉球こころのクリニック）、平位和寛（肥前精神医療センター）、尾崎光紗（日本精神科病院協会、DPAT事務局）、納橋優奈（日本精神科病院協会、DPAT事務局）

研究要旨

昨年度は災害時における近隣自治体による合同チーム、いわゆる「地域ブロック隊」の可能性の検討を行った。その結果、平時において、①近隣自治体の体制状況の把握、②合同研修および合同訓練の実施を通じて自治体間の連携を深める、といった必要性があることが示唆された。これらを踏まえ、今年度は令和5、6年にDMAT地方ブロック訓練幹事都道府県のDPAT担当課を対象とし、アンケート調査を実施した。DPATがDMAT地方ブロック訓練に参加することのメリットは大きいですが、訓練内容を作成するにあたり、参加自治体におけるDPAT担当課の負担と予算の大きく二つが課題であることが明らかとなった。

来年度においては、他分担研究班の研究結果と併せて、より質の高いDPATの育成に向けて、DPAT事務局主催の研修項目へ反映や、DMAT地方ブロック訓練等の合同訓練や合同研修の確立に向けた提言を行っていきたい。

A. 研究目的

昨年度、今後予想される大規模災害等に備え、DPATが迅速かつ質の高い活動を展開する目的で、近隣自治体における連携体制を確認し、地域ブロック隊の可能性の検討と課題の抽出を行った。その結果を踏まえ、地方ブロックによる合同訓練や合同研修を確

立するための検討を行うこととした。

B. 研究方法

令和5、6年にDMAT地方ブロック訓練幹事都道府県のDPAT担当課を対象とし、アンケート調査(資料1)を実施した。回答期間は、令和6年9月18日から同年10月8日まで

とした。

C. 研究結果

全 14 自治体にアンケートを送付し、青森県、山形県、大阪府、兵庫県、広島県、埼玉県から回答を得たが、埼玉県からの回答内容は DMAT 地方ブロック訓練の内容ではなかったため除外とし、他 5 自治体の回答を集計した。なお、群馬県はアンケート結果集約以降の訓練予定であったため今年度の結果に反映することが叶わなかった。

全国 8 ブロック中、2 年間の内に DPAT として幹事の自治体のみが訓練に参加したブロックは延べ 4 つであり、大多数の DMAT 地方ブロック訓練において、幹事の自治体以外は不参加であるという結果となった(図 1)。また、訓練内容の作成は、その多くが自県の DPAT 担当課が自県の DPAT 統括者や先遣隊と協力して作成していることが明らかとなり、ブロック内で共同して作成している自治体は 1 自治体のみであった(図 2)。訓練を実施するにあたり、同ブロックの DPAT 関係者との「顔の見える」関係作りが出来たという意見や、同じ県庁内で他部署との連携や DMAT との連携が出来た等、様々な関係者との連携が良かった点として挙げられた。一方で、都道府県 DPAT の参加が出来なかったこと等が課題として挙げられた(図 3)。事前打ち合わせは、対面と Web を併用している自治体が約半数を占めた(図 4)。内容は訓練の内容やシナリオ、運営タイムスケジュール等、一般的に想定されるものであった。

費用負担に関しては、一部 DMAT 訓練事業を用いている自治体も認められたが、参加医療機関の負担になっている自治体が非常に

多く、全ての自治体が、国庫補助が必要であると回答した(図 5、6)。なお、訓練の際に事前に DPAT 隊員に保険の加入を勧めたのは 2 自治体のみであった(図 7)。

実際に行った訓練内容は、DPAT 調整本部の立ち上げと運営、DPAT 活動拠点本部の立ち上げと運営が主であり、参加 DPAT の数や予算の問題からも、それ以外の訓練までの余裕がない印象であった。しかし、DPAT 関係者や DMAT 担当課、精神科医療機関から協力が得られなかったと回答した自治体はなかった(図 8、9)。

最終的に、DMAT 地方ブロック訓練に参加することによるメリットとしては、同ブロックの DPAT 関係者や DMAT 等他医療支援チームとの「顔の見える」関係作りが構築出来たこと等が挙げられた。一方で、時間や調整の困難さといったデメリットも存在するが、訓練自体に否定的な意見は見受けられなかった(図 10)。

D. 考察

DMAT 地方ブロック訓練は、毎年ブロック内で持ち回り制で行われているが、ほとんどの自治体において、DPAT は幹事を行う時のみ訓練に参加しており、同ブロック内の他都道府県 DPAT 担当課との連携がとれていなかったという実態が明らかとなった。また、訓練内容の作成や事前の打ち合わせに関しても、自県の DPAT 担当課が主となり行っていた。

その背景には、費用負担の問題が非常に大きく、DMAT 訓練事業の中で DMAT 地方ブロック訓練の予算が確保されている DMAT と比較して、DPAT が容易に訓練に参加が出来ないことが浮き彫りとなった。

DPAT が DMAT 地方ブロック訓練に参加することのメリットは大きいですが、訓練内容を作成するにあたって、自治体の DPAT 担当課の負担と予算の問題の二つが大きいと考えられる。前者に対しては、今後マニュアル作成や他自治体の訓練内容の共有等を行う事で負担が軽減されると考えられる。また、後者に関しては、DMAT と同程度の予算措置が必要と考えられる。

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他

E. 結論

DPAT が DMAT 地方ブロック訓練に参加することのメリットは大きいですが、訓練内容を作成するにあたり、訓練参加自治体の DPAT 担当課の負担と予算の大きく二つが課題であると結論づけられた。

来年度は、他分担研究班の研究結果と併せて、より質の高い DPAT の育成に向けて、DPAT 事務局が実施する研修項目へ反映させることへの提言や、DMAT 地方ブロック訓練等の合同訓練や合同研修の確立に向けた提言を行っていきたい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

1) 納橋優奈:災害派遣精神医療チーム (DPAT) 活動における地域連携強化のための課題について～DMAT 地方ブロック訓練への参加推進に向けて～. 第 30 回日本災害医学会総会・学術集会、令和 7 年 3 月 8 日

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

図 1

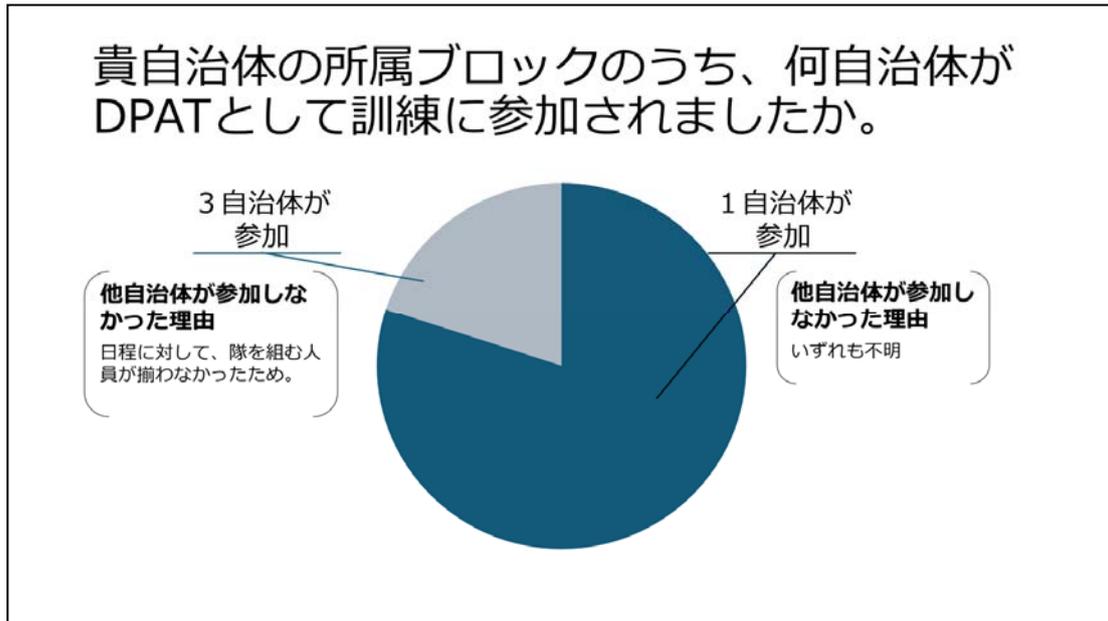


図 2

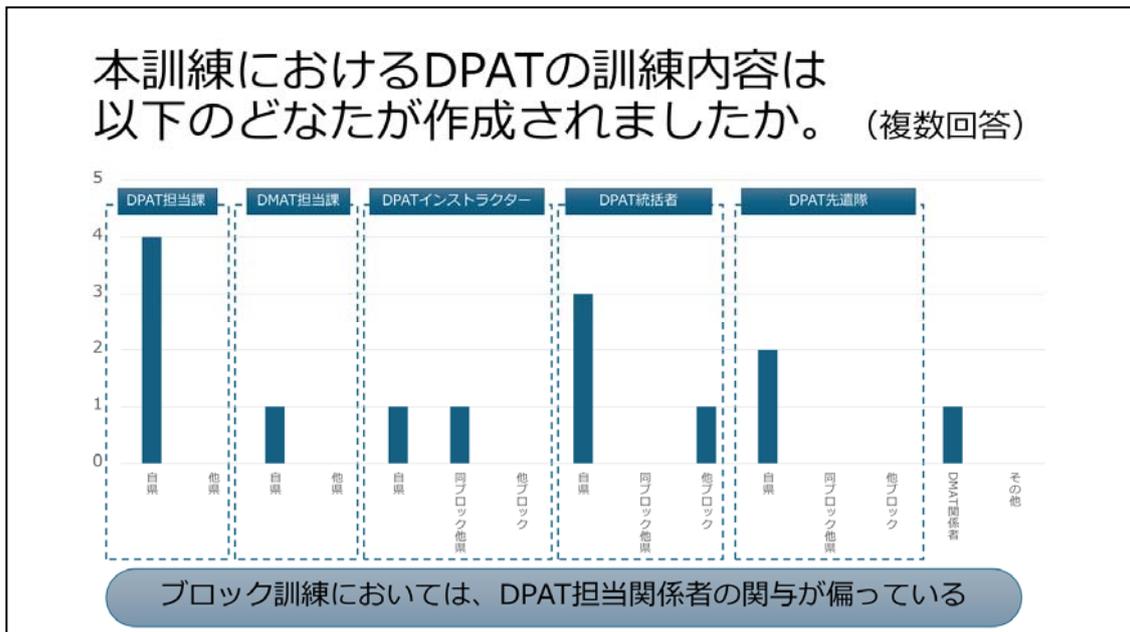


図 3

DMAT地方ブロック訓練において、DPAT関連の訓練を実施するにあたって、①「良かった点」と②「課題」をご記載ください。

良かった点	課題
<ul style="list-style-type: none">・中国地方5県のDPAT関係者（DPAT事務局、先遣隊、行政担当職員など）の、顔の見える関係づくり・当県ではDPATの訓練を行う機会があまりないため、訓練に参加することで実践的な学びができた・訓練想定に沿ってプレーヤーが活動、またコントローラーからの状況付与に沿って訓練が進行できたこと・保健医療福祉調整本部設置運営訓練に参加したことで、発災時の本部機能、他部署（班）との連携を意識し、実践的な対応を行なうことができた・DMATとの連携などの訓練ができた	<ul style="list-style-type: none">・ローカルDPAT未参加（参加対象としなかった）・事前準備が不足しており、DMATとの実際の連携まで訓練で行うことができなかった。・被災医療機関の支援について、DMAT隊とDPAT隊の住み分けや支援調整が必要なこと・DPAT隊の活動を訓練に盛り込むことが出来なかった・訓練企画者（コントローラー）などの人員に合わせた訓練規模になってしまう

図 4

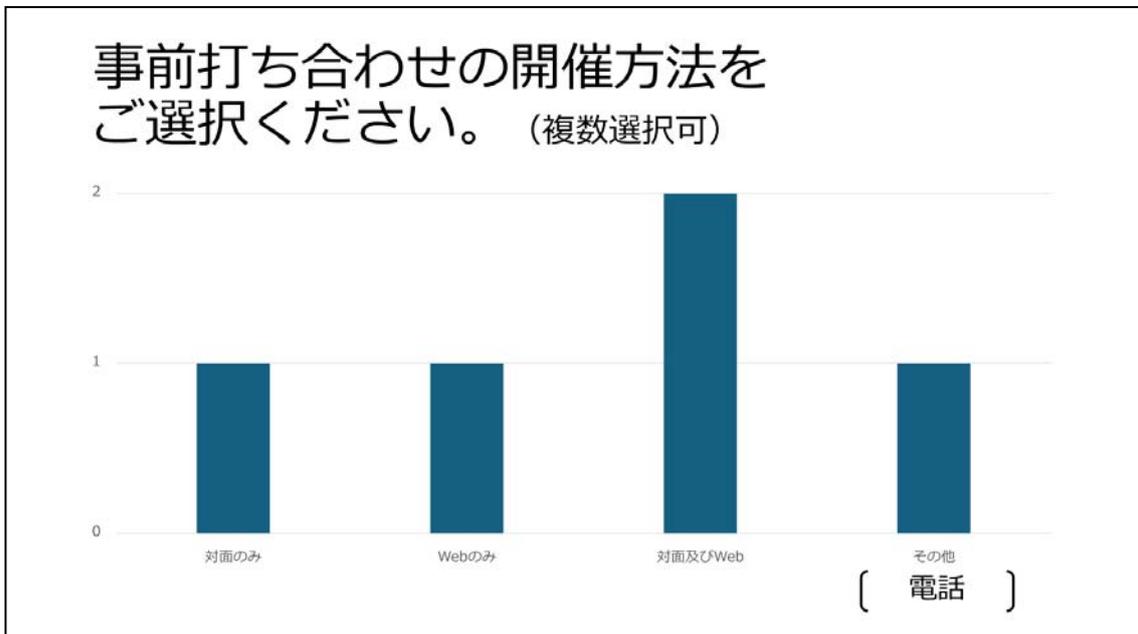


図 5

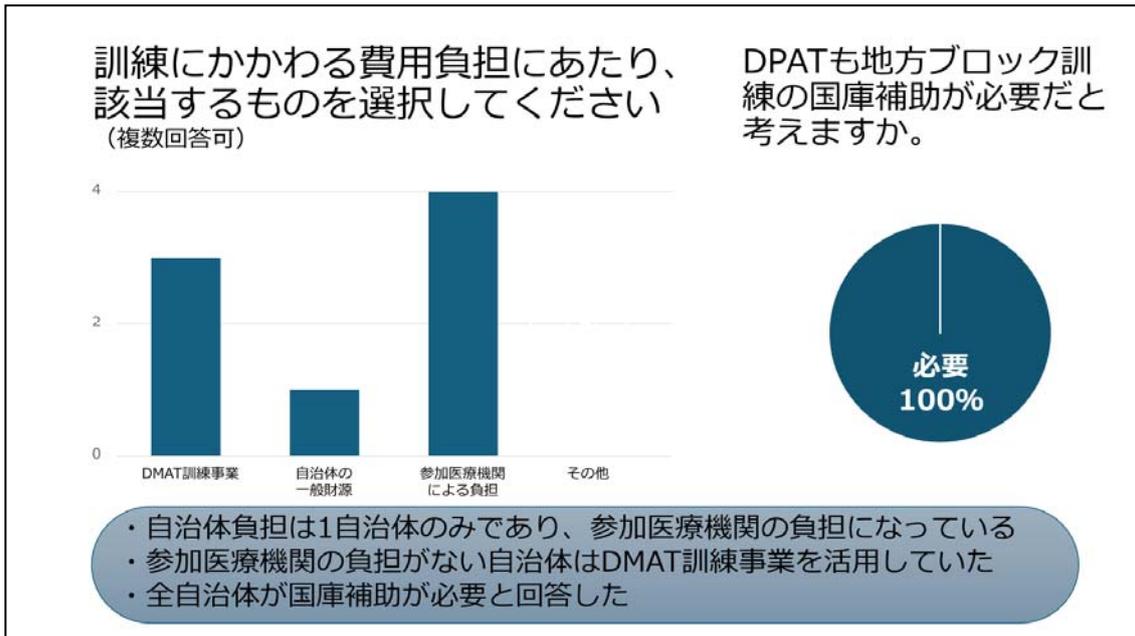


図 6

国庫補助に関するその他ご意見
ありましたら、以下にご記載ください。

- 地方ブロック訓練への国庫補助のご検討を何卒よろしくお願いいたします。
- 今回は他県のDPATの参加がなかったものの、もし参加する場合は国庫補助が必要だと考える。
- 一般財源確保が困難であり、大規模地震時医療活動訓練等、全額補助が望ましい。

図 7

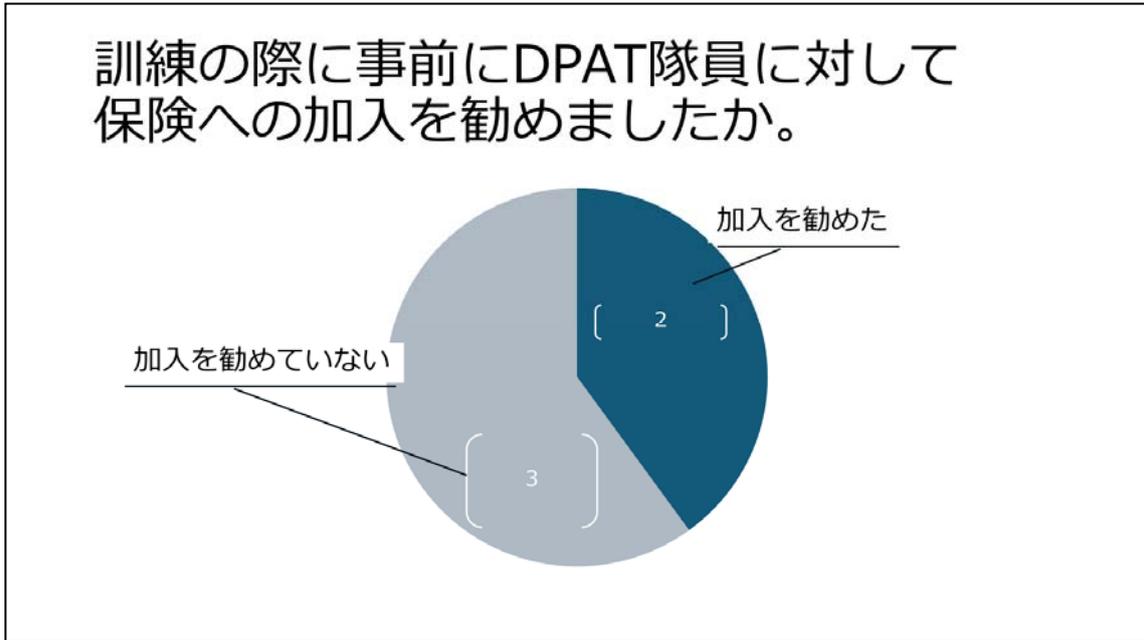


図 8

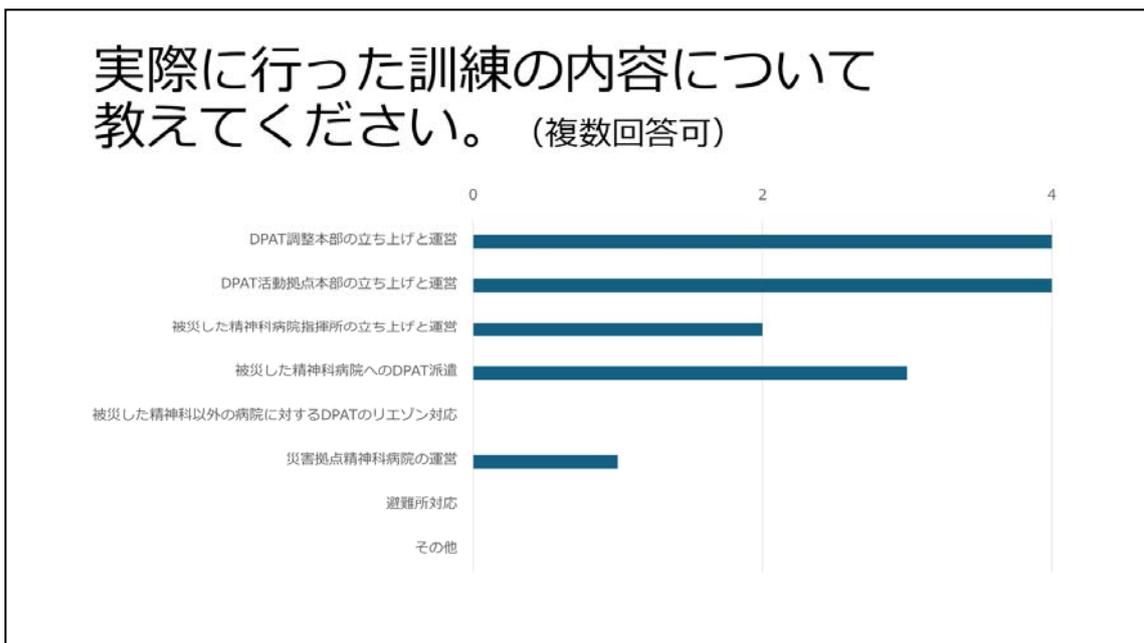


図 9

実施にあたり、課題であったことを教えてください。（複数回答可）

- 予算
 - ▶ 旅費等を支出する予算がなかった
 - ▶ 前年度の予算要求の時点で訓練の内容が未確定であり、訓練全体スケジュールにおいてDPATが参加可能か未定であり、予算確保をしていなかった
 - ▶ 国庫補助があればやれる内容ももっと充実すると感じた
 - ▶ DPATの訓練に関する予算の確保はできなかった
- その他
 - ▶ 訓練へのDPAT参加が決定する時期が遅かったため、訓練の事前準備が不足してしまったこと
 - ▶ DPAT隊の活動を訓練に盛り込むことが出来なかった

DPAT関係者やDMAT担当課、精神科医療機関から協力が得られなかったと回答した自治体はなかった

図 10

DMATブロック訓練に参加する/したことによるメリット・デメリットをそれぞれ以下にご記載ください。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・ 中国地方5県のDPAT関係者（DPAT事務局、先遣隊、行政担当職員など）の、顔の見える関係づくり・ 被災医療機関等の支援を目的にDPATが訓練に参加できたこと・ 実践的な訓練の機会となった・ DMATをはじめとした発災時に支援を行なう機関、チームとの連携強化が可能となる・ 大規模な訓練は限られており、DMATなど他チームとの連携も含めて実施できることは経験となる	<ul style="list-style-type: none">・ 被災医療機関の支援について、DMAT隊とDPAT隊の住み分けや支援調整が必要なこと・ 訓練のいった限られた時間、スケジュールの中で、DPATとしてやりたい内容全てを訓練に盛り込むことは困難である。・ 特になし

資料1 質問票

DPATの近隣自治体との連携強化に向けたアンケート調査	
<p>DPATは今後予想される大規模災害に備え機能強化が求められており、自治体間の連携を深める必要性があると考えられています。本調査は、DMAT地方ブロック訓練に関するDPAT担当課の現状を把握し、近隣自治体同士による合同研修や合同訓練等を行うための課題を抽出することを目的としています。</p> <p>調査対象 令和5・6年度のDMAT地方ブロック訓練を担当された自治体のDPAT担当課</p> <p><回答欄の種類について> 青色部分・・・青色部分をクリックしてリストから1つ選択 薄オレンジ色部分・・・自由記述</p> <p><回答対象について> 回答していただく対象者をH列に記載していますので、よく読んでご回答ください。</p>	↓ 回答対象 ↓
1. 本日（ご回答日）の日付をご記載ください	← 全員回答
2. 自治体名をご記載ください。	← 全員回答
3. 貴自治体がDMAT地方ブロック訓練の幹事課（開催地）を担当された際のことについて伺います。	
3-1 貴自治体の所属ブロックのうち、何自治体がDPATとして訓練に参加されましたか。	← 全員回答
<input type="checkbox"/> 自治体 3-2 参加されなかった自治体がある場合、その理由をご存じですか。 <input type="radio"/> 知っている <input type="radio"/> 知らない 3-2-1 3-2において、「知っている」を選択された方にお聞きします。参加されなかった自治体のその理由について、以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答 ← 全員回答
3-3 本訓練におけるDPATの訓練内容は以下のどなたが作成されましたか。作成に携わった方をすべてチェックしてください。	← 該当する方のみ回答 ← 全員回答
<input type="checkbox"/> DPAT担当課（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DMAT担当課（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DPATインストラクター（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 同じブロックの他県 <input type="checkbox"/> 他ブロック） <input type="checkbox"/> DPAT統括者（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 同じブロック内の他県 <input type="checkbox"/> 他ブロック） <input type="checkbox"/> DPAT先遣隊（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 同じブロック内の他県 <input type="checkbox"/> 他ブロック） <input type="checkbox"/> その他 3-3-1 3-3において、「その他」を選択された方にお聞きします。「その他」の具体について以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-4 DMAT地方ブロック訓練を実施するにあたって、①「良かった点」と②「課題」をご記載ください。	
①良かった点（自由記述）	← 全員回答
②課題（自由記述）	← 全員回答 ← 全員回答
3-5 同じブロック内のDPATの自治体担当課と連携は取れましたか。	← 全員回答
<input type="radio"/> 全ての自治体担当課と連携が取れた（→3-5-1へ） <input type="radio"/> 一部の自治体担当課と連携が取れた（→3-5-1へ） <input type="radio"/> どの自治体とも連携は取れなかった（→3-5-2へ） 3-5-1 3-5について、の連携内容を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-5-2 3-5について、連携課題を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答 ← 全員回答
3-6 事前打ち合わせにはどなたが参加されましたか。参加された方をすべてにチェックを入れてください。	← 全員回答
<input type="checkbox"/> DPAT担当課（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DMAT担当課（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DPATインストラクター（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DPAT統括者（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> DPAT先遣隊（ <input type="checkbox"/> 自県 <input type="checkbox"/> 他県） <input type="checkbox"/> その他 3-7 訓練にかかわる費用負担にあたり、該当するものを選択してください（複数回答可）。	← 全員回答
<input type="checkbox"/> DMAT訓練事業 <input type="checkbox"/> 自治体の一般財源 <input type="checkbox"/> 参加定率補償による負担 <input type="checkbox"/> その他 3-7-1 3-7で「その他」を選択された方にお聞きします。「その他」の具体について以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答 ← 全員回答
3-8 DPATも地方ブロック訓練の開催補助が必要だと考えますか。	← 全員回答
<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 3-8-1 3-8に関連して、開催補助に関するその他ご意見がありましたら、以下にご記載下さい。	← 該当する方のみ回答
3-9 訓練の前に事前にDPAT職員に対して保険への加入を勧めましたか。	← 全員回答
<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ 3-10 実施に行った訓練の内容について教えてください（複数回答可）。	← 全員回答
<input type="checkbox"/> DPAT調整本部の立ち上げと運営 <input type="checkbox"/> DPAT活動拠点本部の立ち上げと運営 <input type="checkbox"/> 被災した精神科病院地域の立ち上げと運営 <input type="checkbox"/> 被災した精神科病院へのDPAT派遣 <input type="checkbox"/> 被災した精神科以外の病院に対するDPATのリエゾン対応 <input type="checkbox"/> 避難所対応 <input type="checkbox"/> その他 3-10-1 3-10において、「その他」と回答された方にお聞きします。「その他」の具体を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-11 実施にあたり、課題であったことを教えてください（複数回答可）。	← 全員回答
<input type="checkbox"/> 以下のDPAT関係者の協力が得られなかった。 <input type="checkbox"/> 自県のDPAT統括者 <input type="checkbox"/> DPAT先遣隊 <input type="checkbox"/> 都道府県DPAT <input type="checkbox"/> DPATインストラクター <input type="checkbox"/> DPAT事務局 <input type="checkbox"/> 自県の精神科病院の協力が得られなかった（→3-11-1へ） <input type="checkbox"/> DMAT担当課の協力が得られなかった（→3-11-2へ） <input type="checkbox"/> 予算（→3-11-3へ） <input type="checkbox"/> その他（→3-11-4へ） 3-11-1 3-11において、「自県の精神科病院の協力が得られなかった」と回答された方にお聞きします。その具体を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-11-2 3-11において、「DMAT担当課の協力が得られなかった」と回答された方にお聞きします。その具体を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-11-3 3-11において、「予算」と回答された方にお聞きします。その具体を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-11-4 3-11において、「その他」と回答された方にお聞きします。その具体を以下にご記載ください。	← 該当する方のみ回答
3-12 DMATブロック訓練に参加する/したことによるメリット・デメリットをそれぞれ以下にご記載ください。	
①メリット	← 全員回答
②デメリット	← 全員回答
3-13 DMAT地方ブロック訓練概要のわかる資料がありましたら、本アンケートと共にメールにてお送りください。	
<input type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	